



大正時代から昭和のはじめ、港区にパラダイスがあった？



1925 (大正 14) 年、今の夕凧の地域に「市岡パラダイス」という大きな遊園地がつけられました。東洋一の飛行塔やアイススケート場、大浴場、映画館などがあり、大阪の名所として、たいへんにぎわいました。



明治時代の終わりから大正時代にかけて、大阪港を中心に栄え、工場や住宅地がたくさんつくられた港区には、大きなレジャー施設が生まれました。

1914 (大正 3) 年、今の築港 2 丁目あたりにできたのが、海水を使った温泉施設の「築港大潮湯」です。温泉のほか、滝の流れるプール、演芸場などがあり、たくさんの人でにぎわったそうです。



築港大潮湯(今の築港 2 丁目あたり)
(「港地区復興土地区画整理事業誌」より)

1925 (大正 14) 年には、今の夕凧 1 丁目のあたりに「市岡パラダイス」という大きな遊園地がつけられました。約 1 万 2 千坪の広い敷地のなかに、当時東洋一の高さだった約 30m の飛行塔、屋内アイススケート場、「千人風呂」と呼ばれた大浴場、5 色のイルミネーションでライトアップされた人工の滝、大劇場、映画館などがあり、当時の大阪の名所になりました。市岡パラダイスのまわりには、商店や映画館、市場がつぎつぎと建てられ、今の夕凧のあたりは「パラダイス通」と呼ばれて、たいへんにぎわいました。

ほかにも、明治時代の中ごろにあった天保山遊園や、大正時代のはじめにあった築港遊園地など、港区は、昔からレジャースポットにめぐまれたまちだったようです。



市岡パラダイスの入口(「港地区復興土地区画整理事業誌」より)

1888(明治 21)年
天保山遊園開園(1897 年閉園)

1914(大正 3)年
築港大潮湯ができる

1917(大正 6)年
築港遊園地開園

1925(大正 14)年
市岡パラダイス開園
(1930 年閉園)

1923(大正 12)年
大阪市立運動場(今の
八幡屋公園)ができる

1972(昭和 47)年
(今の八幡屋公園に)
交通公園ができる
(1994 年閉園)

1956(昭和 31)年
(今の八幡屋公園で)
国際見本市が開かれる

1996
(平成 8)年
大阪市中央体育館、
大阪プールができる



市立運動場だった八幡屋公園

おなじころ、1923(大正12)年につくられたのが大阪市立運動場(今の八幡屋公園)です。当時は、27,000席のスタンドがある陸上競技場、日本初の50mプール、野球場やテニスコートなどがありました。戦後、1956(昭和31)年からは何回か国際見本市の会場として使われ、1972(昭和47)年から1994(平成6)年までは、子どもたちが楽しく交通ルールを学べる「交通公園」もありました。1985(昭和60)年に国際見本市の会場が南港(インテックス大阪)にうつると、その跡地を使って今の八幡屋公園がつくられ、1996(平成8)年に「大阪市中央体育館」と「大阪プール」が完成しました。



大阪市中央体育館と大阪プールでは、市立運動場だったころとおなじように、身近なスポーツ活動だけでなく、1997(平成9)年の第52回国民体育大会(なみはや国体)をはじめ全国・国際レベルの大会がおこなわれています。

大阪プールのメインプールと飛びこみプールは、冬はスケートリンクになります。

たんけんポイント



⑦ 八幡屋公園

地下鉄中央線「朝潮橋」駅
2-A 出口すぐ

調べてみよう! ①

市立運動場は、1923(大正12)年のある大会のためにつくられました。その大会とは?

調べてみよう! ②

大阪プールや大阪市中央体育館では、どんなスポーツの大会が開かれている?



みなと く たいしょう じ だい

港区は大正時代生まれ？



港区は1925（大正14）年4月1日に
誕生。当時は、今の^{たいしょうく}大正区や^{にしきゅうちく}西区九条地区
も港区の一部でした。人口は267,919人
で、^{おおさかし}大阪市の13区の中で^{だい}第1位、^{めんせき}面積
は17.59km²で第4位でした。



市や町、村などの^{せいど}制度ができた1889（明治22）年、今の港区の土地の多くは大阪市ではなく^{にしやぐんかわなみむら}「西成郡川南村」にありました。当時の大阪市は東区・西区・南区・北区の4区だけで、今とくらべると面積も規模もずいぶん小さなものでした。

その後、多くの人が住むようになり、工場なども建てられ市街地が広がったため、1897（明治30）年、大阪市はそれまで市の外にあった^{おおさかえき}大阪駅や、^{みなと}港の建築を予定していた地区を大阪市の一部にしました。このとき川南村も大阪市内に仲間入りし、当時の西区の一部になりました。この数年後、1903（明治36）年に^{ちっこうおお}築港大さん橋や^{はつ}大阪初の市電が今の港区に登場します。

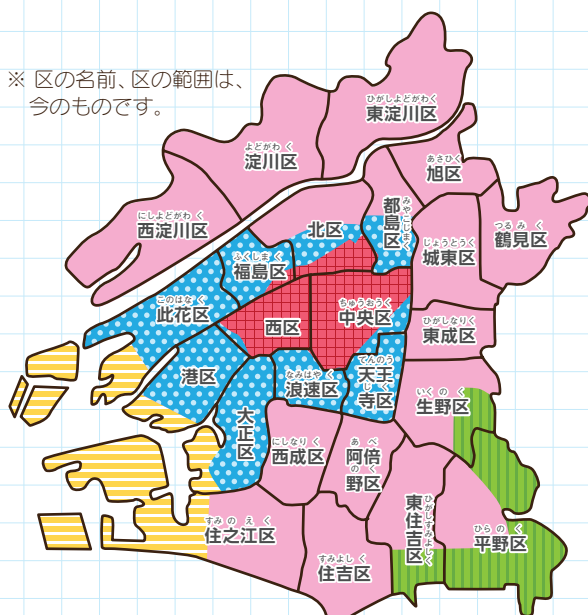
2回目に大阪市の^{はんい}範囲を広げた1925（大正14）年4月1日、44の町村が大阪市内に入り、面積はそれまでの約3倍、区の数も13区になりました。このとき、^{むかし}昔の西区と北区から分かれて誕生したのが、そう、わたしたちの港区です！

大阪市の範囲のうつり変わり

今の大阪市の面積 … 223.00km²

-  1889（明治22）年4月
（大阪市ができる）… 15.27km²
-  1897（明治30）年4月
（大阪市の範囲を広げる①）… 55.67km²
-  1925（大正14）年4月
（大阪市の範囲を広げる②）… 181.68km²
-  1955（昭和30）年4月
（6町村を大阪市に入れる）… 202.31km²
-  1965（昭和40）年～
（埋め立てによるもの）

※ 区の名前、区の範囲は、今のものです。



1889 (明治 22) 年
大阪市制がはじまる。市岡新田な
どの各新田は西成郡川南村になる

1897 (明治30)年
川南村が大阪市に入り、
西区の一部になる

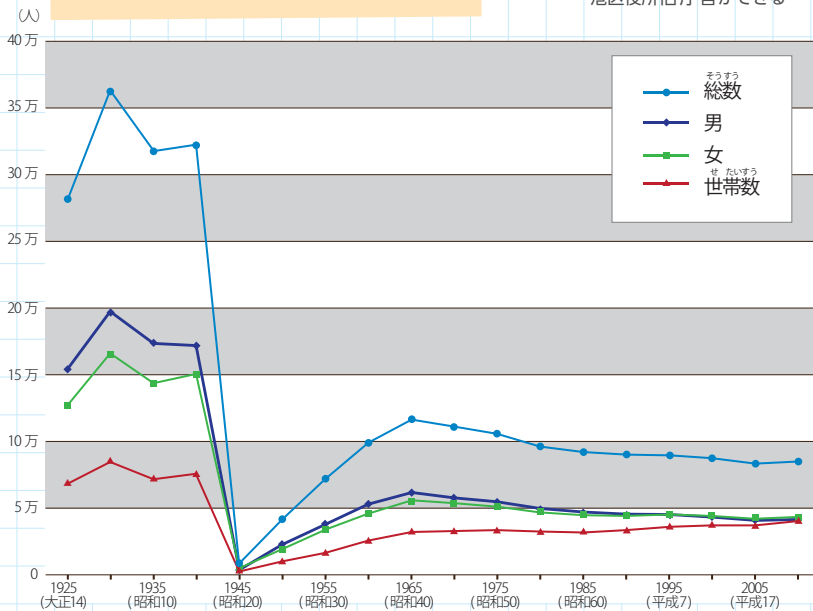
1925 (大正 14) 年
港区誕生!!!
港区役所ができる

1932 (昭和7)年
三軒家・泉尾地区を
大正区として分ける

1943 (昭和 18) 年
境川運河から東の九条地区を
西区へ分け、今の港区の範囲
になる

1997 (平成 9) 年
港区役所
現庁舎ができる

港区の人口のうつり変わり



大正区に続いて西区九条地区を分け、
今の港区の範囲になった1943 (昭和
18) 年、港区の人口は約26万人で今
の約3倍。戦前・戦中はほとんどの期
間、大阪市中で人口がいちばん多い区で
した。

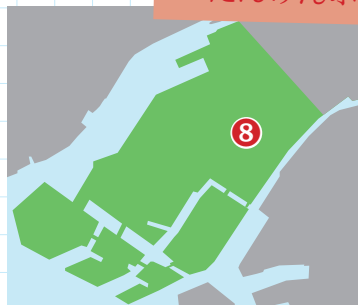
大阪港の工事が終わったの
は1929 (昭和4) 年。1930 (昭
和5) 年の港区の人口は約
36万人。大阪港の発展にと
もなって、港区にどんどん
人が集まったんだね。



1925 (大正 14) 年、港区の誕生と一緒に港区
役所も登場です。はじめは西区の区役所庁舎のな
かにあり、その後、南境川町に庁舎をうつして、
業務がはじまりました。

みんなの暮らしをマサスる区役所。
1997 (平成9) 年にできた今の庁舎は、
南境川町時代から数えて3代目。
見に行ってみよう!

たんけんポイント



⑧ 港区役所

地下鉄中央線「弁天町」駅
③出口より約750m、JR
「弁天町」駅南口より約
800m

調べてみよう! ①

今の港区の人口は何人? 人口は、
大阪市の24区のなかで何位だろ
う?

調べてみよう! ②

港区の人口が大きく減った1945
(昭和20) 年ごろ、港区では何が
あった?